



8/30 全校集会

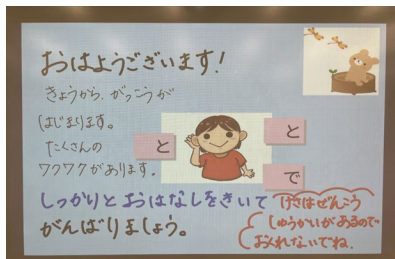
夏休みが終わりました。全校集会では、次のようなお話をしました。
・・・夏休みが終わり、今日からまた、いつもの学校生活がはじまります。夏休み前にも話しましたが、みんなが元気に登校できてとてもうれしく思います。

さて、今年の夏休みもコロナの心配があって、いつものように遠くへ出かけたり、人が大勢集まる場所へ出かけたりすることがあまりできなかったかもしれません。さみしかったり不自由に感じたりした人もいたと思います。

でも、いつもと違う夏休みにがんばっているなぎさっ子にたくさん出会いました。科学研究相談日に来ていた人、学校宿泊でリーダーになってみんなのためにあせを流した人もいました。ASTに毎日通って元気に過ごした子もいましたね。うちで留守番をしながら、おうちの人を助けた人もいたでしょう。先日提出した夏休みの宿題を見せてもらいました。なぎさっ子一人一人が暑い中がんばったんだなあと感じました。でも、中には計画通りいかなかったり、失敗したりして悔しい思いをした人もいます。

うまくいなくても、失敗しても大丈夫。だって、その失敗やくやしさに負けてにげ出したりあきらめたりする子はいなかったと思います。なぎさっ子がいつも難しいことにチャレンジしてくれてとてもうれしいです。このようなことができるのも、先生やおうちの人をはじめたくさんの方の応援のおかげ。こんな時、失敗を跳ね返す強い心が身につくチャンスでもあります。困った時こそ、知恵を出し、できることを考えて、やり抜く力を身に付けていきましょう。失敗を乗り越えていく強い心を「へこたれない心」と言います。そして、この強い心が、将来、私たちのまわりのくらしをよくしていくことになります。先生たちも力いっぱい応援します。

まだまだコロナの心配はなくなりません。手洗い、マスク、密にならない工夫などを忘れず、熱中症にも気を付けていきましょう。



▲ホワイトボードに映し出されたごみ組の先生からのメッセージです。色々なクラスで子どもたちへのメッセージがありました。



西洋イワナンテン

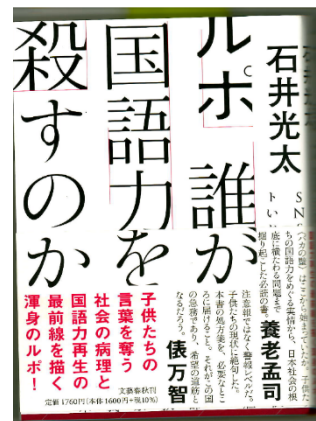
アメリカ東南部を原産とする常緑低木。春には白い花も咲くが、基本的には色とりどりの葉を觀賞する。正門を入るとすぐに目に入る植物。今は、新芽の葉がところどころ赤く色づいてきれいです。

9月の生活目標

- ・体をきたえよう
・生活リズムをととのえよう

日本の子どもたちの国語力が失われている現状と国語力再生に取り組む学校の紹介をしている本です。

コロナ禍の中、著者の石井光太さんは本校に2021年に来校され、2日間の取材でまとめられました。



国語力について、▲文藝春秋社より発行 石井さんは述べます。(定価 1,600円)

「文科省の定義によれば、国語力は(考える力・感じる力・想像する力・表す力)の4つの中核からなる能力」とされています。

・・・中略・・・「語彙を増やすのと同時に育てていくのが『情緒力』や『想像力』だ。」とのこと。なぎさstyleの教育～本物に触れる・五感を養う・季節感を味わう・文化を育む～に符合する記述です。まさに本校の教育の真髄を指摘してくださっていると思いました。「小学校がいかにか子どもを救うか～国語力育成の最前線」と題して、第7章になぎさstyleの教育について26ページにわたり記述されています。主な内容は、「本物の体験を通して感受性を育てる」「授業を創意工夫する」「学校として成長を評価する」となっています。全教科で取り組んでいるなぎさstyleの教育が確かな言葉の力を育てることにつながっていると意を強くしました。